

なやたけ 情報版

2007.10.1 発行

No.13



左上:澤田静さんの「炎の如く」(日本刺繍) 右下:吉田百合子さんの「貝合わせ」(日本刺繍) 右上・左下は2点共ハーダンガー刺繍

2007 年度 行事日程

- 4/7 (土) 春期委員会
- 5/7 (月) 学園創立記念日
- 5/27 (日) 通常総会・支部長懇談会**
- 6/10 (日) 国際交流基金奨学生決定
- 6/16 (土) キャリアネット第1回セミナー
- 6/30 (土) キャリアネット
「ようこそ先輩 ようこそ後輩
ー“働く”を話そうー」
- 8/10(金)～19(日) 桜会会館夏期休館
- 9/1 (土) 地区懇談会(新潟市)
- 10/1 (月) 「なやたけ情報版」第13号刊行
- 10/2 (火) バス旅行
(富岡製糸場・軽井沢タリアセン)
- 10/6 (土) 学祖祭・秋期委員会
- 10/27(土)～28(日) ときわ祭(バザー参加)

- 11/10(土)～11(日) 常磐祭
- 11/10 (土) ホームカミングデー
- 11/17 (土) キャリアネット総会・講演会
- 12/1 (土) 臨時総会(渋谷校舎)**
- 12/26(水)～1/7(月) 桜会会館冬期休館

●平成20年

- 1/14 (月) 初春歌舞伎観劇会
(於 国立劇場)
- 1/19 (土) キャリアネット第2回セミナー
- 2/18 (月) 文楽鑑賞会(於 国立小劇場)
- 3/15 (土) キャリアネット第3回セミナー
- 4/1 (火) 「那与竹」第71号刊行
- 5/17 (土) 通常総会・懇親会**
(於 グランドプリンスホテル高輪)

平成19年度実践桜会通常総会報告

平成19年度通常総会が5月27日(日)新高輪プリンスホテル「香雲の間」にて開催されました。

正会員 8,360 名、出席者数 208 名、

委任状数 4,358 通、定足数 4,180 名で定款第 30 条により総会は成立。

下記の議案が審議、承認されました。



議案

1. 平成18年度事業報告
2. 平成18年度収支決算及び財産目録承認の件
3. 監査報告
4. 平成19年度事業計画の件
5. 平成19年度収支予算の件
6. その他

総会終了後の親睦パーティーでは、ダ・カーポによるミニコンサートもあり、美しい歌声が心に響く大変楽しいひと時を過ごしました。



ダ・カーポのおふたりは、ネパールにある子供病院への支援を長く地道にされています。



桜会若松理事長から母校へ助成金が贈呈されました。

平成19年度臨時総会のお知らせ

日時：12月1日(土) 午後1時～3時

会場：中学校高等学校3号館5階会議室

議事：①平成19年度補正予算

②平成20年度事業計画・予算案

③その他

※臨時総会は渋谷で開催。

多くの皆様のご出席をお待ちしています。

なお、欠席の方は必ず同封の委任状をご返送ください。

各支部での一括送付やFAXでも受け付けています。

会費
納入の
お願い

桜会は皆様の会費で運営されています。

年会費 2,000 円の納入をよろしくお願いします。

新学長に聞く

大学・短大の新構想

2007年4月、湯浅茂雄氏が実践女子大学・同短期大学の学長に就任されました。飯塚幸子前学長の志を受け継ぎつつ、新たに「実践スタンダード」を立ち上げた新学長の抱負などを伺いました。

実践女子大学・同短期大学 湯浅 茂雄学長

東京都出身。上智大学大学院国文学専攻博士課程満期修了。ノートルダム清心女子大学国文学科教授を経て、'98年実践女子大学文学部国文学科教授。'07年から現職。専門分野・専攻は国語学（近代語）



—YUASA SHIGEO

読書が大好きな少年でした

父が小学校の教師をしていて、家には児童文学書をはじめ、漱石や芥川、志賀、そのほか多くの全集が揃ってありました。そのおかげで、私も本の大好きな読書少年に育ちました。

中学・高校では乱読を重ねながら、友人とよく小説や短歌を作ったりしていましたので、卒業時にはもう進路が決まっていたようなものでした。

私は上智大学の文学部に進みましたが、「万葉サークル」に所属し韻文の世界に浸っておりました。ただ、研究対象には、「文学」ではなく、「語学」（国語学史、辞書史）を選びました。言葉というものはメカニックで体系的なものです。もともと私は数学、生物など理系の科目が好きでしたので「語学」という論理的に構築された学問に興味を抱いたのでしょうし、また入っていきやすく取り組みやすくもありました。

大学では森岡健二教授に師事いたしました。この先生に出会ったことが自分の進路を決定づけることになります。先生は問題意識を研究に向ける道筋をつけてくださり、柔軟なアドバイスで絶えず勇気づけてくださいました。あまりに偉大な方なので、私自身先生に恩をお返しすることなどとても出来ません。学長となった今、この恩返しの気持ちを学生たちの育成に向けたいと思っています。

学長としての抱負

このたび私たちは、大学改革の一環として、2年後の平成21年を目標に「実践スタンダード（仮称）」を立ち上げました。その内実は、学生に対する基礎教育と専門教育を連係し、社会に出る際、企業のニーズに応えられるような支援を徹底させようというものです。スキル別にプログラムを作った

り、語学教育も充実させます。また建学の精神である「下田理念」の品格、自立を根底にしたマナー教育にも力を入れたいと思います。つまり、基礎教育を基盤にして、女子大ならではのきめの細かいコミュニケーション教育を行なっていくということです。

そのために、大学、短大の教職員は一丸となって、学生達が学ぶ中で、目的意識を見出し、自らの明確な出口を目指すよう支援していきます。もちろん、これらの改革については、外部にも広く宣伝できるような形を示すことが肝要かと思っています。

学外での画期的な構想としては、2009年に六女子大（日本女子、東京家政、共立、大妻、実践、昭和）連合での「教職大学院」の開校が挙げられます。募集対象は、中、高教員を目指す女子学生や現職女子教員です。教員の質的向上を目指し、学校現場の多様な課題に対応出来るような教員を育てることを目的としたものです。今まで多くの女性教員を送り出してきた本学としては、この構想を実現させることを社会的責務と考えています。

桜会に向けて…

実践桜会には、いつも多大なご支援をいただき、感謝しています。特に、キャリアネットの活動については日頃より注目しています。本学もキャリア教育を推進しており、体制を整えたうえで具体的なお願いをしたいと考えています。

「ホームカミングデー」をもっと盛んにしなければなりません。そのためには、卒業生と大学との交流を密にし、積極的に先生方への出席要請をするなどの働きかけが必要かと思っています。恩師に会えることもPRできれば、参加者を増やしていけるのではないのでしょうか。私もゼミの学生に声をかけ、若い卒業生達も参加できるような形にもっていきたいと考えております。

特集 支部だより



本州から南西に約 1,000km。

紺碧の海に浮かぶ美しい珊瑚礁の島・沖縄。しかし、その歴史は重く波乱に満ちています。

琉球王国が幕を閉じ、日本の一部となったものの、

太平洋戦争末期の沖縄戦では 24 万人もの人々が犠牲になりました。

長い間米国統治下にあった沖縄が本土復帰を果たしたのは昭和 47 年。今年で 35 年になります。

今回は、この戦争の爪痕を深く残す沖縄の同窓の方々に当時のお話を伺いました。

平成19年度沖縄支部総会が、6月24日(日)12時から、那覇市の「味の店三郎」で開催されました。

支部長の與崎洋子さんによると、参加者を増やしたいと毎年役員の方々が知恵を絞っていろいろな試みがされているとのこと。今回は総会後の行事として「対馬丸記念館」の見学が企画され、高良政勝会長の講演「水に流せない過去」を拝聴いたしました。総会の出席者は 10 名。殆どが、パスポートの必要な時代にはるばる海を越えて、実践で学んだ方々です。

宜野座久美子さん(昭和44年卒 大学食物)は、当時のパスポートや予防注射証明書、学生手帳、学生リング、バッジなど貴重な思い出の品をご持参くださいました。また、「日本人であることを証明する」という当時の身分証明書を見せてくださった方もあり、皆さんの胸裏には当時のことが一層鮮明に蘇ってきたようです。



昭和 19 年 8 月 22 日、米海軍に撃沈された疎開船「対馬丸」の死者は 1418 名。その半分は学童でした。「対馬丸記念館」の建物の高さは、甲板までの高さと同じに作られています。子供たちは船の側面に張られた高い梯子を恐々よじ上り、貨物船の船内に入ったといいます。

※2004 年 8 月現在の氏名判明者

長田みどりさん (昭和 35 年卒 大学国文)

「まだ米国統治下で、1ドルが 360 円の時代でした。大学生のひと月の送金限度は 30 ドルです。それではとてもとても足りなくて、米国製のチョコレートとかチューインガム、コーヒーなどを家から送ってもらって、御徒町(アメ横)によく売りに行きました。店の人もよく買ってくれました。当時、沖縄では学力の向上を図るため“公費学生”の制度がありました。優秀な人やお金のない人を選抜して国立大学に入れ、本土のレベルに近づけようとするものです。それに比べると『私たちは私立へ行ったり、コーヒー学生だね』などと言って笑いあっておりました。その制度も復帰後には無くなり、生活力もついて自力で行ける人も多くなりました」

與崎洋子さん (昭 37 年卒 短大国文)

「私たちのパスポートは沖縄・東京間にのみ通用するものでした。東京に着くまで 3 日ぐらいかかりましたね。私は、鹿児島まで船で行き、そこで一泊して

次の日 24 時間ぐらい列車に乗って行きました。船酔いはするし、検疫のためバナナなど上陸前には捨てられてしまうし、種痘の注射を打たれるし、とても大変でした。でもそれも全然苦になりませんでした。とにかく私たちはみな東京志向だったのです。東京以外の土地は全く考えられませんでした」

上原庸子さん (昭 38 年卒 大学国文)

「東京の人たちとは言葉のアクセントが違っていたので『沖縄の人は英語で話しているの?』と、よく言われました。まだ沖縄が知られていない時代だし偏見もあったように思います。我が家では遠くの大学に行くことに何の問題もありませんでした。両親も女だから進学させないというような考えは全く持っていませんでした。実践は母が行きたかった学校なのです。それにしても、母校が日野に移ってしまったのは本当に残念。母校を訪問するにも、遠いし不便ですね。何とか渋谷に返せないものでしょうか」



沖縄・東京間で使用した琉球列島高等弁務官発行のパスポート。宜野座久美子さん所有。

島袋節子さん (昭 41 年卒 短大生活)

「船では、2 等船室の底で車座になり、洗面器を抱えて寝ました。最初学寮に入れなくて、1 年間は叔母の家に住みました。2 年生になって入った学寮の門限はとても厳しかったですね。友達のうちに

泊まるために、叔母に何個も判子を押してもらってごまかして寮に許可もらったことを覚えています。先輩にパチンコに連れて行ってもらったり、渋谷でよく映画を見たりしました。とにかく、すべてがカルチャーショックでした」



総会冒頭、校歌斉唱する皆さん

宮城美恵子さん (昭 35 年卒 短大国文)

「実践の価値が本当に分かったのは、沖縄に帰って琉球放送の試験を受けたときです。『ええッ、あの実践の卒業生なんですか?!』って。即採用されました。もっともその後南西航空に転職してしまいましたが。次姉も同じく実践で、大学の英文でした。長姉が、自分のできなかったことをこの次姉に託し大学に進ませたのです。私の方は働き者の母と兄が援助してくれました。兄は当時タクシーの運転手をしておりましたが、お金が続かなくなるのではないかと心配する私に『いざとなったら、“模合”をおこしてやれば、皆が助けてくれて 30 ドルは送ってやれる。何とでもなる。頑張れ』と励ましてくれました。だから、私たちはこの姉兄に決して足を向けて寝ることはできません。沖縄では、困ったときは、地域の人や周りの皆が助けます。『ナンクルナイサ (なるようになるさ)』という言葉がありますが、これがまさに沖縄精神なのです」

※“模合”(掛け金を出し合ってお金を融通し合う沖縄独自の互助組織。)

取材を終えて……

沖縄の人々の心のなかに「水に流せない過去」がある。それは決して風化させてはならない歴史の記憶です。戦争によって身内の人を失わなかった人は一人としていないという沖縄の人々の、その体験を共有したことでより強く結ばれる絆。

おひとりおひとりから醸し出される、人を包み込むような温かさや明るさ、そして、なにかことが起これば決然と立ち向かおうとする、凛とした強い意思のようなものを今回の取材で感じました。きっと、それらすべてをひっくりめたものが「ナンクルナイサ」の精神なのでしょう。皆様が実践の卒業生だということを心から誇りに思います。



支部だより

◆札幌支部◆

福永典子

本支部は、50 数年の歴史があります。百名以上いた会員も、現在は 70 名弱になりました。今年は6月24日、札幌グランドホテルにて総会と講習会を開催しました。昭和 11 年卒から昭和 61 年卒の方まで 19 名が出席されて、午後は「思い出の布を利用した折本作り」を1時間程で完成させました。短時間の慣れない手先の作業でしたが、布の代わりに和紙を使ったのがよかったようです。「来年は、もっと魅力のある内容にしていきたいネ」と、幹事さんと今から準備をしています。折本の作り方を希望される方はご連絡ください。

TEL & FAX 0167-22-4523 福永典子



◆函館支部◆

宮腰泰子

支部総会は7月1日(日)ウォーターフロント近くの「紫せん」にて、10 名参加で開催されました。昭和 2 年卒のお元気な小林さんを人生の目標に、また平成卒の後輩の若さのエネルギーをいただいた和やかで、有意義な同窓生の絆を深めた一日でした。

さて「函館の歴史を伝える野外劇」についてご紹介致します。幕末から明治にかけて歴史の舞台になった特別史跡五稜郭を背景に、毎夏市民のボランティアに依る「函館野外劇」を上演する夏の夜の風物詩です。函館発展に尽力した高田屋嘉兵衛、函館戦争の榎本武揚や土方歳三などの歴史物語で、土手や堀での水上舞台上演されます。一度ご覧ください。

◆宮城支部◆

飯岡絹子

支部総会は 18 名参加のもと、浅野純子氏を招いて講演会を開催しました。「女性が輝いて生きる為」というテーマで、身長 178cm というご自分のコンプレックスを武器として生きてきたこと、元モデルの経験から歩き方や外国での経験などお話しいただき、最後にフラダンスと、あっという間の 1 時間でした。また嬉しいことに初めての参加者の方が、美味しいケーキを焼いて持ってきてくださいました。私達の先輩の高橋松子さんが 96 歳でお元気に、いまでも手紙を書かれていることなど嬉しい限りです。

バザー品も沢山ご協力くださいました。

◆秋田支部◆

境田幸子

秋田は「自然と歴史に恵まれた地」と自負しているところですが、年一回の総会でレジャー気分を味わおうと、今年は 6 月 23 日、県北部にある大館市の先輩達ががんばって開催してくださいました。

明治の木造芝居小屋とされる「康楽館」で食事をしながら、下町人情芝居と華やかな舞踊ショーを拝見。笑いあり涙ありの楽しいひとときを過ごし、更に明治の香りの中でルネサンス風の外観意匠を今に伝える「小坂鉦山事務所」を見学と、秋田の明治百年を堪能できた一日でした。

広い秋田県内における卒業生の結束力のありがたさを改めて実感致しました。

また今年のバザーの出品協力も話し合いました。



◆岩手支部◆

箱崎光子

岩手支部は今年創設 25 周年を迎えました。

実践桜会本部、先輩、後輩の温かいご支援のお蔭と感謝し、お礼を申し上げます。記念として一般公開講演会（受講者 40 名）、祝賀会、総会（出席者 18 名）を、7 月 1 日（日）盛岡のホテルにて行ないました。講師の人間社会学部・人間社会学科教授高木裕子氏（実践女子大学、英文学科卒）の講演、「現代女性が求める女性教育と現代女性に必要な女性教育」はとても感動的でした。

前学長飯塚幸子氏の母校に対する熱情（Passion）が、高木先生を通して同窓生の心の琴線に触れた時間でした。



岩手支部創設25周年記念 平成19年7月1日

◆山形支部◆

千喜良淑子

「板締めにして染めようかしら」「私は輪ゴムで絞ることにするわ」……。

程なく絹のハンカチが、美しい紅色に染め上がった。工夫をこらした“幾何学模様”に思わず歓声上がる。

山形は昔から「出羽紅花」の生産地である。やわらかな紅色風土が生んだ、いとおしい程に美しくやさしい自然の色。ほんのり染まった手指までもが美しかった”

6 月 3 日米沢市で開かれた総会行事のあとの研修でした。若松理事長の講演や郷土料理に舌鼓をうち、そして紅花染と楽しく有意義な一日でした。

◆福島支部◆

山田英子

事務局のあるいわき市は、最近まで日本一の面積を誇る市でした。石炭産業で栄え、また常磐湯本温泉・有名なスパリゾートハワイアンズは、映画「フラガール」の舞台となりました。美しい海と山の眺めは格別で、塩谷崎灯台は「喜びも悲しみも幾歳月」や今年生誕 70 周年の美空ひばりの「みだれ髪」でお馴染みの場所です。

第 14 回総会は 6 月 24 日（日）ワシントンホテル椿山荘で行なわれました。本部より若松理事長のご出席をいただき「母校の現状と同窓会（桜会）活動」についてお話を伺いました。下田歌子先生を偲び、皆学生時代を思い出す楽しいひとときでした。

◆茨城支部◆

篠崎和子

去る 6 月 24 日（日）茨城支部総会が開催されました。今年度は、初めて会場を水戸市から移動し、筑西市立しもだて美術館内の地域交流センターで行ないました。午前中総会、昼食は 1 階レストランで会員と地域からご参加の皆様とで、県西地区産の食材を用いた松花堂弁当をいただきながら交流を深めました。午後は以前実施して好評だった陶人形作家のご指導で、陶人形のブローチや小額作りに挑戦しました。楽しくて時の経つのを忘れて制作に没頭しました。それぞれが工夫を凝らし、個性的な素敵な作品が完成しました。

次年度もまた、楽しい企画をしたいと思います。



陶人形の作品

◆栃木支部◆

片島由貴

平成 18 年度の総会は、益子の茶力経ヶ坂にて行ないました。益子は、室町、鎌倉と遡る文化財がひっそりと佇んでいます。総会后、やわらかな陽射しの下、自然を満喫しながら町を巡りました。

バスの中での皆様のお話がまた楽しく、女子大生そのもの、笑いが絶えませんでした。

19 年度総会は、10 月 14 日（日）黒羽方面、芭蕉の館、大雄寺、雲巖寺と芭蕉が門弟たちと遊んだ足跡を訪ねます。芭蕉の黒羽城下 14 日間の滞在録は魅力いっぱいです。

皆様是非ご参加ください。お待ちしております。



平成18年 益子にて

◆群馬支部◆

高草木芙美子

支部を設立して11年目となりました。10年をひと区切りとするならば、次なる10年に向けてスタートとなる第11回総会を、6月10日(日)ウェルシティ前橋で開催しました。出席者は33名です。

総会後、錦心流琵琶・久保川華水先生の演奏をお聴きし、幽玄の世界にしばし引き込まれました。

懇親会での歓談は、時が過ぎるのも忘れるほど楽しい時間でした。群馬支部は年齢層も幅広く、学部も色々です。先輩方のお話を聞くことも出来、若い方の最新情報も手に入ります。そして何よりも和やかな楽しい会なので勇気を出してお出でください。お待ちしております。今秋は10月16日、益子、笠間稲荷方面の研修旅行もあります。

新学長からは、大学の現状、これからの大学についての抱負を伺うことができ、心強く頼もしく、共に母校の発展を祈念しました。

狭山茶で昼食・懇談後、国文学科影山輝國先生の講演「中国と日本の狭間で一秋瑾と下田歌子」を拝聴し、充実した一日でした。10月11日「彩の国めぐり」武蔵嵐山史跡見学と小江戸川越散策を計画しています。ご参加をお待ちしています。



◆千葉支部◆

出家成子

「学生時代に戻ろう」という趣旨で、6月28日と29日、箱根の仙石原実習所を借り切り、総勢32名で初めての宿泊旅行を行いました。

花をモチーフにした名画の数々や、エミール・ガレのガラスの作品に見入ったポーラ美術館。紫陽花が咲き誇る箱根登山電車の窓外風景。富士屋ホテルでの館内見学と美味しいランチ。

夕食後のフリートキングでは、自分の現在・今後を一人ひとり発表しました。この2日間、千葉支部の目指す「豊かに生きていくためのネットワークづくり」に寄与できたのではと思います。

10月12日は野田市でミニ同窓会を催します。醤油の里、野田を散策しましょう。千葉支部5周年記念総会は、来年3月16日です。講演者は実践女子大学文学部英文学科教授・小柳康子先生です。たくさんのご参加をお待ち致します。



◆埼玉支部◆

小河原俊子

11回総会・講演会を6月23日(日)埼玉会館にて湯浅新学長、海野総合企画室次長、上原入試センター次長、若松理事長をお迎えして、行ないました。議事にご賛同いただいた同窓の皆様のお蔭で、節目に相応しい会となり感謝致します。

◆山梨支部◆

石川泰子

平成19年度の支部総会を、6月9日甲斐市の名利放光寺で開催し、承認をいただきました。

引き続き長老の清雲峻玄氏(郷土史研究会理事長)を講師に、NHK大河ドラマで人気上昇の「風林火山」に登場する「信玄と勘助」を拝聴しました。ドラマとは違った史実に基づく深い内容のお話に感動しました。講話後、お抹茶をいただきながら、素晴らしいお庭を拝見。昼食は由緒ある調度や花鳥描写のお部屋で奥様手作りの精進料理をいただきました。一般参加の方々も歴史に触れた至福の一日と喜んでくださいました。



清雲氏と放光寺のお庭

◆長野支部◆

笠原澄子

諸先輩のお骨折りによって生まれた我が長野支部は、30年近い歴史を持っています。

南北に長く大きな県ですので4ブロックに分け、各ブロック毎に活躍中です。10月に総会を開きますが、会場はブロック持ち回りで当番に当たり、各々趣向を凝らした企画の下に意義ある会を心掛けております。

10月2日に桜会文化部主催のバス旅行「富岡製紙場と軽井沢の旅」が企画されているとのこと、皆様との交流が出来ることを嬉しく思います。

総会は当日に合わせ、準備を進めております。

◆新潟支部◆

南 吉子

支部の発足は資料によりますと戦前の昭和 7 年です。

平成 18 年に新潟県市町村合併が終わるのを待って、7 年振りにようやく名簿を完成させることが出来ました。名簿作成については賛否両論ありましたが、作成に踏み切りました。会員数は 920 名ですが、実際には 200 名しか応答がありません。郷里に戻らず東京で就職する方が多く、また会員の高齢化も進んでおり、毎年退会者が出ている現状です。

平成 19 年度支部総会は、実践女子大・短大主催の公開市民講座、地区懇談会と同日の 9 月 1 日(土)に新潟市の「イタリア軒」で行ないました。

なお末筆ながら中越沖地震の折には会員の皆様からいただいたご支援に、心より感謝申し上げます。



◆福井支部◆

谷 洋子

梅雨の晴れ間の、アジサイが咲き誇る 6 月 23 日、平成 19 年度総会を福井市内のホテルにて行ないました。本県の現在の会員数は約 100 名ですが、当日の参加者は 10 名でした。総会後の懇親会では松花堂弁当をいただきながら、和やかな雰囲気の中、かつての学生時代の思い出やこれからの母校や後輩に期待することなどを語り合いました。少人数でしたが、30 歳から 80 歳代までが揃う滅多にない会となり、大先輩の心温まる話に皆感心させられました。時間はあっという間に過ぎ会が終わっても暫くの間、話が尽きませんでした。



◆静岡支部◆

鏡島真理子

おかげさまで静岡支部は発会して、早 10 年が過ぎました。地域の教育文化の振興に寄与できる活動をしていかなければという思いで、ささやかではありますが、毎年の総会と公開講座開催に努力をし

ています。ここ数年は、正法眼蔵についてさまざまな切り口で学んでいて、去年は、道元の女性観について思いがけない見解を知り、一同興奮の公開講座になりました。新聞に案内が掲載されますので一般の参加者が多く、次回を楽しみにされる方も増えています。また、会場の蒲原梅花幼稚園児との交流も恒例となり好評をいただいています。一度のぞきにいらしてください。今後は香道の公開講座も開く予定です。

◆愛知支部◆

大塚昌代

平成 18 年度の支部総会は 9 月 30 日に、名古屋国際空港セントレアの見学を行なった後、空港内のレストランで開催されました。

愛知支部は岐阜支部との合同で「若葉会」と名付けて毎年持ち回りで会を開催していますが、地域が広範囲のためと年々会員の高齢化で出席数が減少傾向にあります。少しでも若い方の参加を促すような魅力ある会にしたいものと努力をしている次第です。

昨今は下田歌子先生の偉業を知る機会、また語ってくださる方も少なくなりました。岐阜の美濃は先生のご出身地で墓碑があり岐阜支部の方がお守りをしています。機会がありましたら、どうぞお出掛けください。他支部の皆様と交流が出来たらと思っています。

◆三重支部◆

竹腰 葵

平成 19 年 7 月 7 日(土)、四日市市の「呼月」で総会を開きました。事業、会計の報告後、伝統と新しいセンスが調和した「呼月」のお料理を楽しみました。その後、この地の風土や文化を考えるヒントとして、北川幸治氏に「やきもの雑話」と題してミニ講演をしていただきました。北川氏の造詣の深さとお人柄がうかがえるお話に、三重県への新たな興味と愛を感じる事が出来ました。

今年の出席者は 13 人でした。次回も心に残るような企画を考えたいと思っていますので、同窓の皆様、是非ご都合をつけご参加ください。



◆関西支部◆

萩原登美子

4月の役員改選で前支部長・紅林誠子様の後を引き継ぎ、既に始動しています。6月20日(水)役員・地区合同委員会を催し、運営に関わる意見交換が行なわれました。今期は会員の増員招誘、秋の総会開催、各地区の集い、同窓生応援としての宝塚観劇などなど、交流・親睦を通じて魅力的で温かみのある活動にしたいと思っています。

関西支部、秋の総会・公開講演は10月12日(金)、神戸で開催します。女性コーラスによるコンサートを予定し、昼さかりのひととき、心と体に美音の寛ぎを提供したいと思っています。

◆鳥取支部◆

藤本博子

鳥取は何と言っても自然の宝庫。海の幸、山の幸に恵まれ、鳥取砂丘も市内から車で15分という便利で素晴らしいところです。

そんな恵まれた環境の中で、私たち会員は支部活動を行なっています。昨年は12月に忘年会を兼ねて総会を開催し、年末にもかかわらず多くの会員の出席を得ました。また、総会後には「日本画にかける思い」と題して会員の一人、吉田千穂子さんに講演をお願いしましたが、絵に興味のある外部の方たちも一緒に参加されましたので、盛大な会になりました。実際に素晴らしい絵を近くでみせていただいたこともあり、参加者全員が至福の1日を過ごすことが出来ました。

今回は9月、テーマは「私の健康を保つ為のストレス解消法」です。

◆岡山支部◆

谷本淑恵

後楽園の桜を眺めながら、早いもので7回目の懇親会。毎年、転居などで入会してくださる新しい顔ぶれが、更に嬉しさを増し、今年も楽しいひと時を

過ごしました。

会食後、手芸家として名高かった故花房正子さんの「お細工物展」へ。新たな作品作りに精を出されていた最中のご逝去で、その遺志をお嬢さまがお継ぎになり、見事な「親子展」でした。お細工物に対する熱い思いが込められた作品の数々。圧巻でした!

岡山では、広島在住の方も大歓迎です。数年後は「お好み焼き村」で懇親会を開きたいと思っています。

◆佐賀支部◆

西牟田良子

第43回支部総会を6月23日(土)、佐賀市のマリトピアで行ないました(参加者14名)。

佐賀支部を立ち上げてくださった山口テル子先輩(90歳)が他界され、昔の実践のよき時代を教えていただくことも少なくなり、会としても心細い思いをしています。

しかし、嬉しいことに若い会員の中から、せめて年に一度両親に感謝する日と共に、実践デーとして集いたいという声を聞き、安堵した次第です。

幸い偶然にですが、下田歌子先生小伝のことを知りましたので会員に配り、学祖及び母校を改めて学習してほしいと思っています。



◆愛媛支部◆

城徳 かをる

平成19年度の愛媛支部総会は天候に恵まれた7月1日、伊予の小京都といわれる大洲市にて開催しました。

その後、夜になると鵜飼を見ることが出来る肱川で川下り遊覧船に乗り、涼しい川風を受けながら鮎料理に舌つづみを打ちました。また、最近復元された大洲城(4層4階の天守閣は明治期の資料・写真をもとに木造での復元)などを眺めながら、ゆったりとしたひと時を過ごしました。

毎年楽しみに参加される96歳の上甲佐賀子さんを中心に、同窓生同士和気あいあいと交流を深めた一日でした(ときわ祭のバザー品も持参して頂きました)。



◆長崎支部◆

貝田律子

長崎支部結成は昭和 37 年、出席者 20 名。3 年後の昭和 40 年に第一回の支部名簿が完成。結成 11 年目に「同窓生の親交を深める目的」で「長崎支部だより」第一号が発行されました。

その当時のことを庶務としてお手伝いをされていた仮屋園秀子さんが「ガリ版で、謄写器を買い込み畳の上に古新聞を敷き詰め、2 人の息子に手伝わせながらプリントしたことが、昨日のようで懐かしい」と回想なさっています。

先輩方のご努力で、ここまで支えられてきた支部会を今後も皆で守りたいと思います。

長崎紹介→県の花（雲仙つつじ）市の花（あじさい）

◆大分支部◆

江後通子

私事になりますが、100 歳の母は、大正時代に山口県から実践に進学しました。昨年、その母を連れて本当に久しぶりに母校を訪ねました。突然だったのですが、事務室へ行って香雪記念館を見せていただくようお願いします。

案内されて部屋へ入ると、歴代の制服がマネキンに着せてありました。最初の制服を見て、母はとてもなつかしそうにしていました。

下田歌子先生の胸像や、昔と変わらないソテツなど 80 年前をなつかしむひとときでした。

◆鹿児島支部◆

山口圭子

梅雨真っ只中の 6 月 24 日、幸運にも傘をさすことなく、12 名の元気な実践 OG が集いました。

支部総会では東京での総会報告、行事報告、支部会計報告、校歌斉唱を行ないました。

続く懇親会では、皆様の近況報告、学生生活や下田歌子先生の思い出、帰省の折の苦労話などに花が咲き、向田邦子展の報告や手作り品のプレゼントもあったりで、和やかな会となりました。

また来年も元気でお会いしましょうと、今年こうして集合できたことに感謝して、恒例の笑顔の写真撮影をもってお開きとしました。少人数の支部です。新しい方の参加をお待ちしています。

◆ニューヨーク支部◆

細田美也子

去る 6 月 23 日（土）、ニューヨーク高島屋にて、アフタヌーンティーを楽しみながら実践校友会 NY 支部総会を開催しました。参加はニューヨークに来てま

だ 2 ヶ月足らずという方を含めて 6 人でしたが、和気あいあいと情報交換をするなど親交を深めることが出来ました。

以前、NY 地区の日本語新聞に会員募集の記事を載せたら、お年を召した卒業生の息子さんから連絡があり、早速「那与竹」をお送りして喜ばれたり、また、NY 支部会を通して偶然昔の幼馴染に再会したと報告を受けたりしたことがあります。

NY に住んでいながら実践卒業生という輪でさまざまな年代を通して繋がれているというのは貴重な体験です。小人数ながら NY 支部は頑張ってます。新入会員の情報等ご支援お願い致します。



「みちのく会」第3回総会開催!

第 3 回「みちのく会（東北支部長会）」総会が平成 19 年 7 月 28 日（日）に開催されました。出席者は 15 名、本部からは若松理事長が出席しました。

今年はバスでまず「阿部蒲鉾店」へ。仙台名物笹かまぼこの作業工程の説明を受け、次に仙台伊達藩の藩祖伊達政宗公の御廟「瑞鳳殿」二代目伊達忠宗公の御廟「感仙殿」にお参りました。

その後、仙台駅近くのホテルで、親睦会を行ない、若松理事長が母校の学生数の変遷を説明。今後の学生数増加のための協力をお願いしました。

みちのく会の総会も今年で 3 回を数え、参加者の顔ぶれも変化してきました。東北 6 県の支部長、会員の皆様の強固な繋がりとさらなる発展をお祈りします。





私の仕事場は上野駅

遠藤綾子さんは、一日40万人が利用する東京・上野駅で330名の職員のうち75名を率いる3人の助役のうちのお一人です。多忙な日々を過ごす元気満ち、行動力抜群の遠藤さんにお話を伺いました。



上野駅助役 **遠藤綾子さん**

Profile

中学・高校と進み、平成6年大学被服学科を卒業。JR東日本へ総合職で入社しました。現在までに、営業、輸送、総務といういろいろな職種を経て、入社10年目で現職に。

原点はファーストフードのアルバイト

大学4年間はファーストフードのお店でアルバイトをして、店長の代わりにお店の管理まで任されていました。どこに誰を配置したらよいか、とか、どの食品をどれくらい仕入れたらよいかなどということです。この間、チェーン店の「接客コンテスト」では毎年優勝していました。

この頃から仕事に対してもやりがいを感じるようになりました。

就活にあたり、アルバイト先からは「他のところをどこでも受けて結構。最後にどこにも行けなかったら是非うちへ来てほしい」と言っていたきました。自分では旅行業を希望していましたので、ある日電車の中吊りでJR東日本の募集広告を見て、会社説明会に行き、応募しました。JRなら「みどりの窓口」もあるし、いろいろなお客様と出会えると思ったのです。



「カンオヘア」の場で

いろいろな部署を経験

JR東日本の応募者数は10,000人くらいで、試験は一次から四次面接までありました。第一次試験がグループディスカッション方式だったので思わず「やった!」と思いました。大学での就活講座で勉強した経験が活かせる、と。四次の試験を経て、私は晴れてJR東日本の社員となりました。

入社後、東北新幹線グリーン車への乗務、乗務

員運用計画、苦情対応、各種サービス施策実施、列車の運行管理、朝のTV情報、広報活動と、営業、運輸、総務全般をこなしてきました。現在は上野駅「みどりの窓口」の管理全般を行なっています。

新幹線の車掌時代に、那須御用邸に向かわれる天皇・皇后両陛下を担当したこともあります。

使命感を持って…

実践時代の「お礼法」の授業では「たしなみ」と「しつけ」、人間としての基礎を学びました。これは社会人としても母親としても大切なことです。いろいろな環境の中で、女性ならではの出来ることが沢山あるように思います。また、仕事上で必要なことは気配りとフットワークでしょうか。ぐずぐず考える前に行動あり、です。でも、行動する際には何より「冷静さと情熱」が大事ですが。

立場上、私の発言はJR東日本の発言となりますので、とても責任を感じます。ひとたび事故が起これば沢山の皆様にご迷惑をおかけすることになります。事故の時、女だからといってたじろいでいるわけにはいきません。「大丈夫です!ご安心ください!」と大きな声で言って皆様に安心していただかないといけません。お客様の命をお預かりしているのです。私の指示一つで事故が起きかねないのです。緊張感はいつでも持っていますし、仕事に対して使命感を持っています。

男女機会均等法が施行されても現実には女性の意識はまだ低いですし、男性の見る目も厳しいことが多々あります。「女だからダメだ」には負けたくありませんし、後輩から目標にされる存在でありたいと常に思っています。



道案内は重要な仕事。しかし、駅の中では、制服を着ている人は何でも尋ねられる。住所を見せられて教えてほしい、ということもあったとか。

本 部 だ よ り

会費納入のお願い

桜会の活動は皆さまの会費によって支えられています。会費未納の方は、**当該年度(19年度)用の振込用紙**にて、郵便局、コンビニ及び本部窓口にてご納入ください。なお、振込用紙がない場合は桜会会館までご連絡ください。

財務部は皆さまからお預かりした会費の管理と有意義な運用に努めています。毎月、監査理事が出納帳をチェックし、さらに会計事務所の会計士のご指導のもとで月次監査報告会を開き、理事長はじめ各常任理事・担当事務職員も参加して確認を行っています。また臨時総会での「補正収支予算書」「次年度の収支予算書」通常総会での「決算報告書」を作成し、発表するという重要な役割も担当しています。さらなる桜会の活発な活動のため、皆さまのご協力をお願い致します。(財務部)

地区懇談会報告

9月1日12時45分から14時まで、新潟市のホテル・イタリア軒にて棚田輝嘉先生(実践女子大学国文学科教授)の文化講演会を開催。14時15分から地区懇談会、16時30分から実践女子大学・実践女子短期大学後援会と合同の懇親会を開催しました。

(総務部)

中・高「ときわ祭」協賛バザーのご案内

日時/10月27日(土)～28日(日)

10:00～15:00

会場/実践女子学園中学校・高等学校記念館ロビー

■会場では大好評の支部特産品、手作り品やたくさんさんの寄贈品が並びます。

この機会にどうぞ会員の皆さま、お誘いあわせの上、是非ご来場ください。

寄贈品提供のお願い

受付/10月20日(土)まで

※鮮度を要する食品は10月24日(水)に。

※衣類は新品に限ります。

※名入りのタオルもOKです。

送り先/実践桜会、文化部宛にお願い致します。

初春歌舞伎観劇会

日時/平成20年1月14日(月・祝)

場所/国立劇場

文楽鑑賞会

日時/平成20年2月18日(月) 第二部

場所/国立小劇場

※詳細は11月にお知らせします。HPをご覧ください。桜会にお問い合わせください。(文化部)

今後の桜会行事予定

■10月6日(土) 秋期委員会

時間/13:00～16:00

会場/桜会会館2階ホール

■10月6日(土) 学祖祭

護国寺墓参/11:00～

桜会会館にも下田先生の祭壇を設けますのでご来館ください。

■平成20年5月17日(土)

平成20年度通常総会

時間/11:00～

場所/グランドプリンスホテル高輪

(旧高輪プリンスホテル)

港区高輪3-13-1 TEL:03-3447-1111(代)
(新幹線、JR各線、京浜急行品川駅「高輪口」下車)
ご宿泊の方には実践桜会のための特別サービスがあります。ご希望の方はご連絡ください。

◆◆◆◆◆ 広報部からのお願い ◆◆◆◆◆

ホームページ掲載ご依頼の場合

- ① 文章は、ワードで入力し、写真と共に添付ファイルでメールにて広報部へお送りください。
写真は郵送でも構いません。
- ② 掲載開始日及び終了日も必ずご記入ください。
- ③ 写真掲載の際は、肖像権に抵触する全てのものに関して関係者の方々の許可を得てからお送りください。
返却ご希望の場合は「要返却」とご記入ください。
- ④ 原稿掲載に関しては加筆・訂正または削除する場合があります。ご了承の程宜しくお願い致します。
(詳しくは、桜会HP[<http://www.j-sakura.org>]をご覧ください)

ようこそ キャリアネットへ!

実践キャリアネットは、キャリアアップのための勉強、在校生支援の活動、異業種交流など、同窓生ならではの世代を超えた仲間の交流ネットワークです。どなたでも入会できます。是非、一緒に活動いたしましょう。

2007年度
活動



左端が太田さん。秋には新しくお店を赤坂に開店されます。

第一回セミナー

「ハワイアンの夕べ」

同窓生太田紀美子さんのお店で、6月16日(土) ハワイアン歴史と音楽の講演があり「ザ・バース」の演奏とフラショーを楽しみました。

◆第二回セミナー 1月19日(土)

◆第三回セミナー 3月15日(土)

各セミナー後に会員相互の懇親会を催します。

2007年度活動

「ようこそ先輩ようこそ後輩-“働く”を話そう-」

2007年6月30日(土)(於:日野)

第二回:10月に予定

◆キャリアネット総会

2007年11月17日(土)(於:桜会会館)

卒業生の為の就職・転職相談も行なっています。

詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.j-sakura.org>



入会方法

入会申込みはいつでも桜会事務局へ(月~土 9:30 ~ 5:00 日曜、祝日を除く)

●TEL: 03-3407-7459 ●FAX: 03-3499-0835

★HPからも申し込めます。 <http://www.j-sakura.org>

[年会費] 2,000円(入会金は不要)

[振込先] みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 1748354

[口座名] 社団法人教育文化振興 実践桜会 実践キャリアネット

◆◆◆事業部◆◆◆

実践桜会国際交流基金奨学生決定!

今年度の奨学生は、4月にホームページ等で一般公募し、2回の選考委員会を経て下記の4名に決定しました。

実践桜会国際交流基金 事業報告

選考委員は各役員選出母体から推薦された5名と理事長、常任理事5名、合計11名で構成されます。

今年度の応募者総数は82名(15大学、10ヶ国)でした。書類不備等を整理した後、28名が5月15日の第一次選考委員会(書類選考)で12名に絞られ、6月10日の第二次選考委員会(面接)で最終的に6名が奨学生として選ばれました。(内2名辞退)

昨年と同様に、今年度の奨学生とも交流会を計画中です。ご興味のある方は、本部事業部までお問い合わせください(1回目は9月29日実施)。

チュア
車 文善 (中国)

東京学芸大学

子供たちの興味関心に基づき「主体的な学びを実現出来る授業」の研究を深め、更に博士課程への進学を考えています。



サラントナラ (中国内モンゴル自治区)

早稲田大学

国、民族、性別に関係なく、人びとが同じ世界の市民として、平和、自由、平等に交流出来ることに役立ちたいと思います。



ハオ
郝 佳媛 (中国)

東京大学

幼い頃からの友人が現在、実践女子大学の学生で、奨学金のことを知らせてくれました。将来は母国に帰り、マスコミ関係の仕事に就きたいと考えています。



リ
李 娜 (中国)

早稲田大学

近年、中国に於ける模倣品や海賊版の蔓延に伴う知的財産権が問題になっています。留学中に専門知識を深め、将来は知的財産分野で活躍できる国際弁護士を目指しています。



実践桜会奨学金事業報告

実践女子学園からの推薦により、今年度の給付生は大学院・大学・短大・高等学校各1名計4名に決定しました。

母校教育援助事業報告

5月27日通常総会の懇親会の席上で、学園理事長に助成金を贈呈しました。また、新入学生には冊子「下田歌子小伝」を、卒業生には記念品を贈呈しました。

なお、今秋の常磐祭でも審査の上、優秀なサークルに桜会賞を贈る予定です。

社会活動助成事業報告

一般参加者を視野に入れた支部や科会の諸活動(講演会、講習会、セミナー等)に対して選考の上、年間1~5万円の助成金を給付します。

今年度は8月23日に応募を締め切り、10月から給付を開始します。

科 会 だ よ り

ときわ会

本年度の総会を4月19日「南国酒家」原宿店に於いて開催致しました。ご参加の皆様には有難うございました。母校の渋谷に近い原宿も様変わりし、今話題の表参道ヒルズでのショッピングや明治神宮の庭園、代々木公園への散策と楽しいひとときを過しました。(原文のまま)

今後の予定

★歌舞伎講演会

講師 織田紘二先生

日時 12月中旬の予定

会場 桜会会館 (入場無料)

連絡先:TEL&FAX 045-981-9451 (藤島栄子)

技芸科会

19年度総会と各手芸教室の作品展示を、4月23日に「京王プラザホテル」で開催。「技芸科会だより39号」を7月30日に発行しました。

★秋季旅行:10月21日～22日「修善寺」方面へ行く予定です。どなたでもご参加ください。

★定期講習会 (会場:桜会会館)

ハーダンガー刺繍教室:第1木曜日

染色(楓会):第2火曜日

編物の会:第3金曜日

日本刺繍(萌黄会):第2月・第4金曜日

旅行、講習会共に皆様の参加をお待ちしています。

連絡先:TEL&FAX 03-3307-6472 (中岡久恵)

被服科会

本年は15周年を迎えましたので、盛大に総会を開催しました。この総会において、会則の改定を行ない、本部を大学から桜会会館に移し、また、入会に際しての入会金をいただかないことにしました。総会後はミニコンサートを楽しみました。

★「歌ごろもニュース11号」を発行

総会や今年度の事業などについて報告しました。

★15周年記念品贈呈 実践被服科会名入りのポケットフォルダーをお送りしました。

今年度も2つの講習会と見学会、そして「歌ごろも」16号の発行を予定しています。詳しくは桜会のホームページに掲載してありますので併せてご覧ください。

連絡先:TEL&FAX 0422-46-8593 (鍛冶康子)

家政科会

家政科会の総会を終えました。多くの皆さまのご支援、ご協力に感謝致します。

喧噪する社会の中で福祉に重点をおき、明るく豊かな気持ちで生きたいと19年度の活動を始めました。どうぞよろしくお願い致します。

後期行事予定

★9月26日(水)10時半～(於 桜会会館)

重症心身障害者食事用エプロンの縫製

材料など総て、昼食用意してあります。

★10月4日(木)バスの旅 鎌倉、横須賀方面

★12月 歳末助け合い 朝日厚生事業団に協力

★平成20年1月11日(金)正午～

新年会(於 センチュリーハイアット)

連絡先:TEL&FAX 045-571-0213 (熊切富子)

国文科会

4月の総会には大勢の方を迎え、養老孟司先生の興味深い講演をお聞きました。6月は新緑の軽井沢文学散歩を実施しました。科会の活動内容、情報については「りんどう32号」をご覧ください。国文科会未加入の方のお申し込みをお待ちしています。

★9月28日(金)～29日(土)出雲・松江の旅

★11月17日(土)落語教室(於 桜会会館)

★平成20年1月27日(日)

新年会(於 渋谷エクセルホテル東急)

連絡先:TEL&FAX 03-3304-3831 (加瀬和子)

英文科会

第31回総会を6月17日(日)桜会会館にて開催し、総会後三宅いづお氏(NHK ラジオ深夜便担当)に「秋の見学会探訪地」に関しての講演をしていただきました。

★常設勉強会(於 桜会会館)

輪読会A:第2・第4金曜日10:30～12:30

輪読会B:第1・第3金曜日10:30～12:30

★会報「英文科会だより」は9月発行に変更されました。

★見学会 11月8日(木)

「築地・佃島界隈」三宅氏の案内 昼食「つきち田村」

★新年会 平成20年1月27日(日)

会場「銀座楼蘭」

本年度より会長を篠田俊子より永井和子が引き継ぎました。

連絡先:TEL&FAX 03-3330-5834 (永井和子)

学 園 だ よ り

「ホームカミングデー」のお知らせ

■日時：11月10日（土）13時～16時

講演会と懇親会を行います。（常磐祭開催中）
はがき・FAX・Eメールにて10月23日（火）必
着でお申し込みください。

（氏名・卒業年度・学科・電話番号明記のこと）

住所：〒191-8510 日野市大坂上 4-1-1

実践女子学園 総合企画室

FAX：042-585-8808

Eメール：home-coming@jissen.ac.jp

入試センターからのお知らせ

大学・短期大学共に、卒業生子女推薦入試
を実施しています。今年、この入試で10人の
卒業生子女が入学しました。一般受験生よりも
ひとつ多いチャンスをぜひ生かしていただきたい
と思います。

住所：〒191-8510 日野市大坂上 4-1-1

TEL：042-585-8820

HP：<http://www.jissen.ac.jp/nyushi/>

実践女子学園中学校 入試情報

近々「グローバルスタディーズクラス（国際学
級）」の設置を予定しています。詳しくは、中
学校高等学校事務室にお問い合わせください。

住所：〒150-0011

東京都渋谷区東 1-1-11

TEL：03-3409-1771

留学生が着付けを体験

交換留学生3人が和装の着付けを体験しました。ド
イツから派遣された高校2年生アイリーン・スタシクさん
は剣道部に所属し、1月まで実践に在籍の予定です。



右から松田校長、
スタシクさんと
タイからの2名の留学生

実践を内から支える者たちからのメッセージ

実践女子学園総務部部长兼内部監査室長 井原 徹

12世紀、イタリア・ボローニアに神学・法学を学
ぶ「大学」というものができて以来、長い大学の歴
史の中で、大学に働く「職員」の存在と機能への
社会的認識は、まだまだ薄いと言わざるを得ません。
職員の仕事は、学生生徒にとっては、窓口で学習
上あるいは学生生活上の手続きをするということ以
外には、あまり知られていません。

ボローニアに大学ができて以来、学校という組織
を構成する基本構成員は、ずっと長い間「学生」と「教
師」でした。

近年になって学校組織の拡大、学問の複雑化、
財政の逼迫等を原因として、「学校（学校法人）の
経営」の専門職化が進んできた結果、職員と言われ
る人々の存在の大切さがようやく認知されてきました。

職員には、学校法人の経営を担うという側面に加
えて、大学・学校の存在理由の基本である教育を、
教師と一体となって推進していくという重要な役割が
あります。

いわゆる「学生生徒の学び」をいろいろな側面から
援助する「教育サービス」も重要な役割となっています。
本学園の高橋理事長は「学生生徒のための学

園づくり」を標榜し、本学園の教職員に対して、学
生生徒の学びへの温かい支援を要請しています。
しかし、職員による学生生徒への支援は、まだまだ
十分でないと自覚しています。職員としては、教員
のパートナーとして学生生徒に接することによって、
学生生徒の本学園に対する満足度を高めていくべく
一層の努力をしたいと思います。

卒業生の皆さんから「あの学園に学んで良かった
」とっていただけるように、職員の側からも工夫・
改善をするようにしていかなければならないと思っ
ています。「学生生徒のため」ということは、学生生徒
を甘やかすということではないにしても、だからとい
って官僚的に、紋切り型に指示する、あるいは事務を
進めるということでもないと思っています。本学園の
伝統を理解し、良いものはもっと伸ばし、女子学園
の中で一層高い評価を得ることができるよう、職員
が一丸となって頑張っていきたいと思っています。

卒業生の皆様の本学園の将来に対する期待に
応えるべく、また、皆様の「卒業証書」が一層光
り輝くようにするため、職員は精一杯頑張ってい
く所存です。

実践桜会へ感謝

実践桜会では、国際交流基金を通して毎年多くの留学生を支援しています。

この度、小宮麻衣子さん（平成17年度給付生・北海道新聞社勤務）と
韓国からの留学生・金玟志さん（平成18年度給付生）に留学体験記をお寄せいただきました。



実践女子大学大学院
国文学専攻修士課程修了
(平成12年)

小宮麻衣子さん

私の中国留学

2005年9月から1年間、会社を休職し、中国の北京大学に留学しました。思えば、大学2年になる前の春休み、大学主催の短期語学研修で初めて北京を訪れてから、現代中国のすさまじい変貌ぶりを現地で生活してじかに感じたいと願いつけてきた夢がようやく叶ったのです。ご支援くださった桜会の皆様に心から感謝申し上げます。

私の仕事は記者の書いた原稿を点検・校閲することです。中国に関する記事は、北海道と中国との観光・経済交流が活発になるにつれ激増しています。先日は、ある日本のスーパーが中国のカルフール（名称は「家福来」）と提携するという記事で、「家福来」と誤っていたのを発見、訂正しました。留学当時住んでいたアパートの近くにちょうどカルフールがあり、とても懐かしく思いました。

大学では、中国近代文学の授業を主に履修し、魯迅や現代の作家たちの小説・散文を読みました。ほぼ毎週新しい作品を読んで授業に出るのは正直つらい時もありましたが、漢字の大海原が突如生き生きとした物語となって、その小説世界に没頭できた時や原文だけが持つリズムを感じられた時は、至福のひとつきでした。その小説や作家への理解が深まるのも嬉しくて、授業に出るのが本当に楽しみでした。

外国を理解するには、その国の作家が書いた小説や散文を読むことも大いなる一助になります。仕事とは直接関係ないこれらの授業が私を大きく成長させ、今も支えています。留学を終え、私の中国への関心は一層深まりました。これからも中国報道に携わりながら、エネルギッシュな隣国を見つめ続けていきたいと思っています。



早稲田大学教育学部3年

キム ミン ジ
金玟志さん

出会いへの感謝

時のたつのは本当に早いもので、もうすぐ日本での留学生活も4年目を迎えます。多くの留学生がそうであるように、私にとっても日本への留学はかなりの冒険でした。留学するまでは、韓国の企業で働いていたのですが、その安定した仕事を辞め、家族や友人からも離れ、慣れない地で新しい生活を始めるということは、そう簡単に決断が下せるものではなく、簡単に決めてはいけないことだとも思っていました。だから熟考を重ねた末の留学です。

来日後は、新たな環境の中で何もかも一からのスタート。多くの予想外の困難や壁に直面する大変な時期もありました。特に、留学生にとって経済面は最大の問題となります。アルバイトは、生活と学業を支えるために欠かせません。昼は勉強、夜はアルバイトとの戦いです。そんな中で昨年は幸運にも桜会から奨学金を授与され、私のなかで精神的な“ゆとり”が生まれました。私の場合、この“ゆとり”が大きかったです。精神的に落ち着いて勉強ができる環境を与えていただいたおかげで、その他の興味あることにも積極的にチャレンジできました。

振り返ってみると、大変な時も多かったのですが、一度も日本への留学を後悔したことはありません。それは、韓国にいただけでは絶対に得ることのできない多くの日本人との出会いがあったからです。すべての出会いが私を成長させました。大学やアルバイト先、また桜会の人々の応援や支えは私に大きなパワーとたくさんの希望を与えてくれました。これらの出会いがあったからこそ、今の私、そして将来の私があるのです。心から感謝しております。

財 務 部 報 告

貸借対照表総括表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	一般会計	奨学基金	国際交流基金	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金・預金等	5,272,726	4,335,558	2,817,411		12,425,695
未収入金	0	42,051		△42,051	0
流動資産合計	5,272,726	4,377,609	2,817,411	△42,051	12,425,695
2 固定資産					
(1)基本財産					
減価償却資産	12,547,180				12,547,180
預金その他	27,966,601	13,150,000	60,000,000		101,116,601
基本財産合計	40,513,781	13,150,000	60,000,000	0	113,663,781
(2)特定資産					
会費建設特定金	100,000,000				100,000,000
会費修繕特定金	10,555,334				10,555,334
退職給付引当金	1,757,430				1,757,430
特定資産合計	112,312,764	0	0	0	112,312,764
(3)その他の固定資産					
定期預金等	50,224,261				50,224,261
その他固定資産合計	50,224,261	0	0	0	50,224,261
固定資産合計	203,050,806	13,150,000	60,000,000	0	276,200,806
資産合計	208,323,532	17,527,609	62,817,411	△42,051	288,626,501
II 負債の部					
1 流動負債					
前受金	5,556,000				5,556,000
預り金・未払金	58,261			△42,051	16,210
流動負債合計	5,614,261	0	0	△42,051	5,572,210
2 固定負債					
入会予納金	44,610,000				44,610,000
退職給付費用	1,314,568				1,314,568
固定負債合計	45,924,568	0	0	0	45,924,568
負債合計	51,538,829	0	0	△42,051	51,496,778
III 正味財産の部					
1 指定正味財産	40,513,781	13,150,000	60,000,000		113,663,781
2 一般正味財産	116,270,922	4,377,609	2,817,411		123,465,942
正味財産合計	156,784,703	17,527,609	62,817,411	0	237,129,723
負債及び正味財産合計	208,323,532	17,527,609	62,817,411	△42,051	288,626,501

正味財産増減計算書総括表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	奨学基金	国際交流基金	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1)経常収益					
①基本財産運用益	47,479	24,418	122,312		194,209
②受取入金	12,060,000				12,060,000
③受取会費	17,327,000				17,327,000
④事業収益	5,384,575	1,000,000	2,500,000	△3,500,000	5,384,575
⑤受取寄付金	1,210,000				1,210,000
⑥雑収益	972,953				972,953
⑦固定資産売却益	1,162,700				1,162,700
経常収益計	38,164,707	1,024,418	2,622,312	△3,500,000	38,311,437
(2)経常費用					
①事業費	21,721,017	900,000	2,368,363	△3,500,000	21,489,380
教育文化事業費	9,936,512	900,000	2,368,363	△3,500,000	9,704,875
会員関係事業費	11,784,505				11,784,505
②管理費	20,711,605				20,711,605
経常費用計	42,432,622	900,000	2,368,363	△3,500,000	42,200,985
当期経常増減額	△4,267,915	124,418	253,949	0	△3,889,548
2 経常外増減の部					
(1)経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△4,267,915	124,418	253,949	0	△3,889,548
一般正味財産期首残高	120,538,837	4,253,191	2,563,462	0	127,355,490
一般正味財産期末残高	116,270,922	4,377,609	2,817,411	0	123,465,942
II 指定正味財産増減の部					
①一般正味財産への振替	1,162,700	0	0	0	1,162,700
当期指定正味財産増減額	△1,162,700	0	0	0	△1,162,700
指定正味財産期首残高	41,676,481	13,150,000	60,000,000	0	114,826,481
指定正味財産期末残高	40,513,781	13,150,000	60,000,000	0	113,663,781
正味財産期首残高	156,784,703	17,527,609	62,817,411	0	237,129,723

収支計算書総括表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	奨学基金	国際交流基金	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
(1)基本財産運用収入	47,479	24,418	122,312		194,209
(2)入会金収入	12,060,000				12,060,000
(3)会費収入	17,327,000				17,327,000
(4)事業収入	5,384,575	1,000,000	2,500,000	△3,500,000	5,384,575
(5)寄付金収入	1,210,000				1,210,000
(6)その他収入	972,953				972,953
事業活動収入計	37,002,007	1,024,418	2,622,312	△3,500,000	37,148,737
2 事業活動支出					
事業費	21,721,017	900,000	2,368,363	△3,500,000	21,489,380
(1)教育文化事業費	9,936,512	900,000	2,368,363	△3,500,000	9,704,875
(2)会員関係事業費	11,784,505				11,784,505
管理費	18,234,337				18,234,337
事業活動支出計	39,955,354	900,000	2,368,363	△3,500,000	39,723,717
事業活動収支差額	△2,953,347	124,418	253,949	0	△2,574,980
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入	3,500,000				3,500,000
2 投資活動支出	400,000				400,000
投資活動収支差額	3,100,000	0	0	0	3,100,000
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0				0
2 財務活動支出	0				0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	0				0
当期収支差額	146,653	124,418	253,949	0	525,020
前期繰越収支差額	5,126,073	4,253,191	2,563,462		11,942,726
次期繰越収支差額	5,272,726	4,377,609	2,817,411	0	12,467,746

平成19年度収支予算書総括表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	奨学基金	国際交流基金
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1)基本財産運用収入	280,000	100,000	30,000	150,000
(2)会費・入会金収入	29,200,000	29,200,000		
(3)事業収入	8,900,000	6,900,000	500,000	1,500,000
(内部取引額)	(2,000,000)		(500,000)	(1,500,000)
(4)その他収入	2,050,000	2,050,000		
事業活動収入計	40,430,000	38,250,000	530,000	1,650,000
2 事業活動支出				
(1)事業費支出	25,200,000	21,700,000	1,200,000	2,300,000
(内部取引額)	(2,000,000)	(2,000,000)		
(2)管理費支出	20,250,000	20,250,000		
事業活動支出計	45,450,000	41,950,000	1,200,000	2,300,000
事業活動収支差額	△5,020,000	△3,700,000	△670,000	△650,000
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0			
2 投資活動支出	300,000	300,000		
投資活動収支差額	△300,000	△300,000	0	0
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0			
2 財務活動支出	0			
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV 予備費支出	1,000,000	1,000,000		
当期収支差額	△6,320,000	△5,000,000	△670,000	△650,000
前期繰越収支差額	12,480,000	5,000,000	4,330,000	3,150,000
次期繰越収支差額	6,160,000	0	3,660,000	2,500,000

公益法人会計基準の改正に伴い、今回より平成18年度貸借対照表総括表・正味財産増減計算書総括表・収支計算書総括表・平成19年度収支予算書総括表を掲載しております。財務諸表等の詳細については、ホームページにて情報公開の予定です。また、桜会会館において閲覧ができます。

告知板

原稿・写真をお寄せください。ホームページに掲載します。

広報部アドレス jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

ハーダンガー刺繍教室

粗目の平織布に、初めは小さなコースター・花瓶敷など基礎的な刺繍から入り、あとは順次目的、お好みにより各自マイペースで進めています。昨年9月から始めた方達の素敵な作品が何枚も出来上がっています。どなたでもご参加ください。歓迎致します。



講習日: 毎月第1木曜日 11:00 ~ 15:00

場所: 桜会会館 2階

会費: 1回 1,300円

講師: 佐久節子先生(昭和26年被服卒)

持参品: 先の切れる小鋏

■布・糸・針等その他材料は教室で準備します。

書道教室

日時: 月2回土曜日 13:00 ~ 16:30

場所: 桜会会館

指導: 田中東竹先生

内容: 漢字各体古典臨書、書道誌競書
展覧会作品制作

■毎年8月、桜会後援の下に紫翠展を開催します。

寄付者ご氏名(敬称略)

山本涼子・三原ミヨ・松田由紀子・飯塚幸子
佐野滋・宇井節子・短大生活科S42年Bクラス
(平成19年1月~7月まで)

結婚相談室

相談日: 毎月第2・第4土曜日 10:30 ~ 16:30

但し、8月、12月第4土曜日、1月第2土曜日、祝祭日は休みです。

会場: 桜会会館

入会金: 2万円・書類代1千円

準備品: 履歴書・写真3~5枚(個人スナップ)

■秘密厳守で評判の良い相談室です。

■卒業生の紹介なら、男女どなたでも入会できます。

■すでに会員になられている方でもご来館の上、新しい出会いをお探しになることをお勧めします。

貸室のご案内

クラス会、読書会、サークル活動や各種打ち合わせに、桜会会館をお気軽にご利用ください。(冷暖房費は別途)

	料金(1時間)	備考	利用時間
2階ホール	1,000円	80名収容	午前10時~ 午後4時
3階和室	800円	3室(各12畳)	
4階和室	800円	2室(各12畳)	
4階洋室	500円	1室(8畳)	

■実践桜会会員は2割引です。

■予約の申し込みは3ヶ月前から受け付けます。

■詳細は桜会会館にお問い合わせください。

編集・発行: 〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-15
社団法人教育文化振興 実践桜会
TEL: 03-3407-7459 FAX: 03-3499-0835
HP: <http://www.j-sakura.org>
メール: jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp
編集発行人: 若松幸子
振込口座: 東京 00190-0-23848
印刷: 共同印刷株式会社

編集後記

口々に語られる先輩方の貴重な体験と母校に対する熱い思い。そして平和への祈り。今回の沖縄取材では本当に多くのことを学びました。お世話になった皆様にお礼申し上げます。

A.K.

広報部担当として、まだまだ学ぶことが多くあります。広報誌を作り上げることは、その先に色々な可能性が広がっていくということなのでしょう。貴重な体験が、自分を成長させてくれます。

S.R.

各支部から貴重な報告や写真が寄せられる度に、同窓という絆の深さを感じました。各々限られた短い文章ですが、その行間から伝わってくる素直なお人柄に思いを馳せながら、編集を致しました。

T.Y.

広報の仕事に携わり4年。広報誌が完成するまでの大変さ、完成品を手にした時の喜びと満足感を学びました。それ以上に多くの方々との出会いが私の人生の糧となることを信じています。

I.M.

“ものを創ること”はかけがえのない喜び。広報誌の編集は母校への思いを新たにしてくれた貴重な経験でした。取材を通しての沢山の方々との出会いと、広報部の皆様にも心から感謝します。

K.R.